

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム どリーむ荘

目標達成計画

作成日: 令和3年4月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止委員会は設置し、マニュアル等も職員がいつでも閲覧できるようにしているが、記録を残していない。	記録の徹底	開催時には記録を残す。また、身体拘束廃止委員会について運営推進会議を活用して報告するなど工夫していきたい。	1ヶ月
2	26	コロナにて面会を中止していた関係もあり、電話等での口頭説明になっていた部分がありました。	必要に応じて郵送し説明する。	介護計画の見直しの際には家族への口頭説明と共に、必要に応じて郵送の徹底をする。	1ヶ月
3	35	避難訓練は年に2回行っているが、自然災害に関してはハザードマップを使用しての避難場所等の確認のみになっていました。備蓄品についても十分な量であるか再検討が必要で、数量、消費・賞味期限の管理も必要。	・自然災害の訓練を行う ・備蓄品の管理の徹底	避難訓練を行う際に自然災害の訓練もあわせて行うようにする。また、備蓄品の十分な量、消費・賞味期限の管理を徹底していく。(備蓄一覧表の作成)	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。